

波の音に癒される、海の休日

私たちは海が持ち合わせている魅力と、その魅力を支えている地域にスポットライトを当てて取材を行いました。そこから見えてきたのは魅力だけではなく、さまざまな問題です。

人々に安らぎと豊かさを与えながらも、環境問題が蓄積されていく海と、それを取り巻く社会問題。

そんな海や地域を守っていくためにはどんな事をしていけば良いのか、海の近くで働く方々に現状と今後について深掘りすると共に、魅力に触れてきました。



海取材班



坪内三咲

好きな季節:夏
海が好きなこともあり、蝉の音と波の音が合わさるこの時期が好きです。



池田虹乃

好きな季節:秋
街や葉の色がきれいで、海に映るとより一層景色が素敵に感じるからです。



佐々木愛来

好きな季節:冬
空気が澄んでいることから綺麗な海もより一層綺麗に見え、心を豊かにしてくれるからです。



永田美咲

好きな季節:春
桜が好きで、綺麗な海と桜の花びらが組み合わさった景色が綺麗だから好きです。

辻堂駅

藤沢駅

藤沢市役所

今回紹介する「藤沢環境フェア」にも深く関わっている市役所。

炭火で焼き上げたジュワッと美味しい粗挽き牛肉を使用した、ハンバーガーショップ。

→P.5 ○辻堂駅から徒歩2分

住所:神奈川県藤沢市辻堂2丁目9-35太田ビル

COOKER'S GRILL

生物を見ながらその周りを取り巻く環境を学べる、日本で初めてショーという形でイルカの持つ能力を紹介した水族館。

→P.10-11 ○江ノ島駅から徒歩10分
○片瀬江ノ島駅から徒歩3分

住所:神奈川県藤沢市片瀬海岸2-19-1

新江ノ島水族館

江ノ島駅

藤沢

F U J I S A W A

旅して感じる。
体験で魅せる藤沢市のスポットをピックアップ。

藤沢市は神奈川県中央南部に位置している、人口約四十四万人の市。

アクセスは東京駅からJR東海道線で乗り換えなしで約五分と、都心からでも足を運びやすいのが特徴的です。湘南地域の中心都市として発展しており、観光名所として有名な江の島や、サイクリングロードがあります。また、特産品である「湘南しらす」や「湘南トマト」など、ふじさわ観光名産品協議会で認定されている十一品があり、食の魅力も満載。湘南の海岸線や江の島を目当てに多くの観光客が訪れる、豊かな自然と都市機能が調和した街です。

江ノ島に位置している3社からなる神社。自然に囲まれて澄んだ空気の中、1年中、多くの参拝者が訪れます。

→P.5 ○江ノ島駅から徒歩約20分

住所:神奈川県藤沢市江の島2丁目3番8号

江島神社



江島神社



令和六年十一月六日
江島神社
幸

御朱印の種類が豊富で、全ての種類をコンプリートするために何度も訪れたいような楽しさがあります。また、御朱印を残す御朱印帳もデザインが豊富で、とても可愛いです。

辺津宮の境内の八角のお堂、奉安殿には江島神社のシンボルである「弁天様」が祀られています。



長い階段を登った先で振り返ると、江の島を一望できる素晴らしい景色が広がっています。横から覆いかぶさるような木々の間から見える景色は、まるで自然の額縁に入った写真のようでした。

島内の異なる場所に鎮座しています。特に辺津宮の奉安殿には、八臂弁財天（はっぴべんざいてん）と、日本三弁財天の（たぎつひめのみこと）を祀る「辺津宮」、市寸島比賣命（いちきしまひめのみこと）を祀る「中津宮」、多紀理比賣命（たぎりひめのみこと）を祀る「奥津宮」の三宮から構成されており、多くの参拝者が訪れます。また、江の島全体が神域とされていることから、各宮が



COOKER'S GRILL

神奈川県藤沢市辻堂2丁目9-35 太田ビル

クッカーズグリルは、神奈川県藤沢市辻堂に位置する本格的なハンバーガーショップです。辻堂駅南口から徒歩二分という好立地で、超粗挽きの牛肉100%を使用したステーキのようなジューシーなパティが特徴です。パンズはサクッとふんわり食感で、バターの香りも楽しめます。



Cheese burger

ひとくち食べると、パンズと野菜、そしてメインのお肉の味が口に広がります。肉汁とチーズが口の中で合わさって、癖になる味わいでした。ソースをつけて食べてみても、また少し違った味わいになるのでオススメです！



Hamburger

ハンバーガーのボリュームにびっくりしました！パンズはふかふかで、お肉はジューシーで美味しかったです。ハンバーガーだけでなくポテトもついていてとても満足感がありました。



Mozzarella burger

超ボリュームなハンバーガーから、とろけるチーズに負けないくらい肉汁たっぷりのハンバーガーが最高に美味しかったです！みずみずしいトマトとシャキシャキのタマネギがよいアクセントになっていました。



Let's take an eco-friendly approach! /

第27回ふじさわ環境フェアEco2まつり2024

私たちは世界的に深刻とされるさまざまな環境問題について
藤沢市民会館で開催されていたイベントを通して触れ、学ぶことができました。
地域密着型の環境フェアとはどのようなものなのか、その様子をお届けします！



ふじさわ環境フェアとは？

藤沢市の市民・行政・学生・事業者などが集まって行われる、地域一体型の環境イベントです。今年から始まった大学生による研究発表や、環境問題に関する様々な展示ブースをはじめとして、スタンブラーやキャラクターショーなど、大人から小さなお子様まで幅広い年代の方が環境について楽しめるイベントが盛りだくさんです！



環境フェアの会場内ではさまざまな展示物や体験コーナーがあり、多くの人で賑わっていました。

試乗体験やゴミ入れ体験など、体験しながら学べるブースが多くあり、特に子どもたちは楽しみながらエコなどについて学んでいました！

1

Let's make it!

アルファベットの型にマイクロプラスチックを適量入れて、レジンを流し込んで気泡を取る



ピンセットでつまむことも困難なほどの小ささに、とても驚きました…。誤食してしまう海洋生物の実態は深刻であると改めて実感しました。



マイクロプラスチックとは



元は大きなプラスチック片が、紫外線や波によって5mm以下まで小さくなってしまったプラスチック片のことを差します。あまりの小ささから回収は困難とされているため、特に海洋環境では非常に深刻な環境問題の1つとされています。

Production

microplastic keychain

マイクロプラスチックを活用したキーホルダー作りに挑戦してみました！





3R キャラクターショー

環境問題を解決
するにあたって大
切な3Rをモチー
フにしたキャラク
ターショーがあり
ました。

Reduce

必要以上の消費を極力
行わないようにしましょう

Reuse

捨てずに繰り返し使おう

Recycle

使い終わったら
資源として繰り返し使おう

小さなお子さまに特に人
気のキャラクターショー
は、興味を持ちやすいか
つ分かりやすく3Rのこと
について知ることができる
のでとても良いことで
すね！

同時上映会

マイクロプラスチック・ストーリー ぼくらが作る2050年

ふじさわ環境フェアでは、
環境に関する展示の他に「マ
イクロプラスチック・ストー
リー」ぼくらが作る2050年」
の上映会も同時開催されてい
ました！
アメリカ・ニューヨーク州
のブルックリンの小学五年生
の子供たちが、世界でも深刻
化している海洋プラスチック
問題について学び、アクション
を起こして環境を変えよう
とする姿を二年に渡って記録
した長編ドキュメンタリー映
画です。



この環境フェアを通して

多種多様な環境問題が存在することから難しく捉えら
れてしまいがちですが、どの年齢層でも楽しみながら
分かりやすく環境問題を伝える事ができるふじさわ環
境フェアは、素敵なお取り組みであると感じました。
体験を通してマイクロプラスチックの存在を知っても
らうこのような取り組みは、ゴミの削減へつなげるた
めの架け橋になると考えます。視点を換え、新しいア
クションとして環境問題に触れていくことで問題を皆
さんに身近に感じていただきたいです。

3

金具を付けて完成！



2

硬化ライトで2〜3分ほど固めたら、
型から取り出して金具を通す穴を開ける



ふじさわ環境フェア

について聞きました！

藤沢市役所
環境部 環境総務課
小長谷さん・橋本さん
ふじさわ環境フェア 実行委員長
青木さん



? ふじさわ環境フェアの特徴を教えてください。

実行委員会形式で市民団体と市が一緒に行うという点です。

市が準備を整えるだけでなく、市民団体も準備や当日の運営に関わっているのは他の自治体にはあまり無く、特徴になっていると思います。

? ふじさわ環境フェアが始動したきっかけについて教えてください。

環境フェアは30年前に始まりました。環境関係の市民団体が集まってエコネットという団体を作ったのが始まりです。当時は市内の場所を借りて『藤沢エコネット展』を行っていたんです。そこから自治体と混ざってやりたいということになって、第一回ふじさわ環境フェアが開催されました。

? 市民へのアプローチで工夫していることがあれば教えてください。

環境活動では初心者を取り組みやすいよう簡単なアクションを提案することを重視しています。

例として、「冷蔵庫を詰めすぎない」「冷蔵庫のスイッチを強から弱に変える」など、日常の小さな工夫を提案し最初の一步を踏み出してもらうことが大事だと思っています。

? フェアを通じて環境問題に対しての心境の変化や取り組みの変化はありましたか？



? 未来の藤沢市についてどのように考えますか？

青木さん 環境フェアがなければ出会えなかった多くの人と出会い、人との接点が増えました。そのことによって知識や経験を積み、伝える力を高めることが出来たので、自分の成長に繋がる場になっていると感じています。

橋本さん 参加することによって、担当分野以外の環境問題にも触れることができ、知識や意識が広がりました。ワークショップや出店団体との交流を通じて子どもたちが楽しみながら学ぶ機会を提供し、環境問題への理解が深まったと感じています。

小長谷さん 節電だけでなく節水や水資源の重要性や緑化の重要性も感じるようになると共に、さまざまな側面で繋がっていることに気づきました。その意識を来場者に伝えることを重視して環境フェアを運営しています。

若い世代に伝わって、将来につながって、生きやすい世の中になってほしいですね。今の世代が変われば世の中が変わっていく、その道筋を作ってあげられたらいいと思います。藤沢市は海もあるし農業も盛んで、そんな豊かな自然や住みやすさを将来に残すためには、

今の生活ではダメなんです。

未来の藤沢市をより良くするためにはまず現在の豊かさを守ることが重要で、環境フェアを通じてみんなで変わる意識を共有していきたいと考えています。

私たちができること

環境問題に向き合うきっかけを作る機会がある「ふじさわ環境フェア」。今回の参加と取材の経験から、まずは参加してみることが自分の気持ちを変える一歩になるのではないかと考えました。未来を築いていく私たちが、環境について積極性を持って学び発信することが、未来をより良く次の世代に繋ぐ為にできることなのではないでしょうか。

藤沢商工会議所女性会
相原さん・秦野さん

特定非営利活動法人地域魅力

田中さん

NPO法人 湘南ビジョン研究所

片山さん



ゼミ生が
インタビュー！

映画上映会

について聞きました！



このプロジェクト（上映会）が始動した
きっかけについて教えてください！



藤沢商工会議所女性会でこの映画を見た時にとても感激して、
女性会のみならず市民の方々にもぜひとも見てい
ただきたい
という想いで企画しました。



この映画を私は外国の水族館で見たので、新江ノ島水族館で上
映できたらと思いましたが、まずは
このふじさわ環境フェアで藤沢市と一緒にできた
ということに本当に感動しています。



ゴミを減らすために、観光客となる私たち
にもできるアクションを教えてください。



“持ち帰る”ということが一番身近でできるアクショ
ンですね。

例えばバーベキューだとお客さんは手ぶらで来て、施設が必要なものを用意する。このようにある程度管理されたものを使用することでゴミの減量にもつながりますし、不法投棄も減ると考えています。そういうビジネスを行う人たちがもっと出てきていいんじゃないかなと思います。



観光客側のマナーとして、“ツーリストシップ”というものがあります。観光客が観光地に負荷をかけない、そういうマナーを持ちましょうというのを行なっている若い方々もいるので、

行く側が意識を変える

ということもアクションだと思います。



私たちのような若い世代（10代～20代）に向けて
発信をする上で難しかったことはありますか？



環境問題のことを自分ごととして捉えるというのは本当に難しいこと
で、私たちが有益な情報をたくさん伝えても、受け取る側にとっては難
しかったりします。

なので今は海を好きになってもらうということから始めて
います。

体で感じてもらえば海を守ろうと思うきっかけにつながる。そこが大事
だと思っています。すぐに変わりはしないけど、身近な所から情報を得
るとか、体験をするというのはとても重要なことですね。



若い頃は自分のことに精一杯で、環境に気が回るのはある程度大人にな
って子どもを授かる頃に“今の環境が子どもを育てる環境にはそぐわ
ない”といったようなことから多いんです。この段階で自分ごととして捉
えるようになると思うので、

いかにその段階に早く気持ちをもってもらえるか
というところが難しいと感じています。



皆様にとって、藤沢市の海はどんな存在ですか？



神奈川県川崎市の出身の私にとっては庭のような、とても身近な
存在です。当たり前には存在するものだけど、当たり前には環境も変
化していく。私が海で過ごした時のようにこれから子どもたち
も同じように、海で遊んで元気に育ってほしいです。



私にとっては人生そのもの。世界で一番好きな存在です。



当たり前の存在で、環境に関して私たちの考え方を変化させな
ければ地球はなくなってしまわないじゃないかってくらい、密接した
関係だと思っています。



3.11以降はしばらく海を見ることができなくて、綺麗とか美しい
という感情を抱いていいのかわかりませんでした。けれども波音
を聞かないと暮らせないくらい、私にとっては心の支えであり、
大切な存在です。皆さんも結婚したらぜひここにきてね。

私たちができること

環境問題を次世代に伝えていくことに対して知識が浅かったり、具体的な行動に移す経験が今までになかったということは誰もあ
ると思います。このように身近に学ぶ場所を見つけて積極的に参加をし、私たちが発信することが環境問題を解決する一つのき
っかけになるのではないのでしょうか。些細なことでも何かしらアクションを起こすということを心がけていきたいですね。

新江ノ島水族館

相模湾大水槽は見上げるほどの高さがあり、まるで海の中を潜っているような感覚になります。

水槽にはエイやイワシの群れなどが泳いでおり、タイミングが合えばダイバーさんのショーを見ることができます。

また、暗い照明や大きな岩で囲まれている水槽の様子は、リアルに海の中を感じることができます。

1 “相模湾と太平洋”、そこにくらす“生物”

新江ノ島水族館は、生物の種類がとても豊富な相模湾が目の前にあることが特徴です。多くの人に相模湾を知ってもらうために、さまざまな展示を通して目の前にある相模湾を紹介している水族館です。



新江ノ島水族館の特徴ともいえる白種類・二万匹の生き物が泳いでいる相模湾大水槽、そこではイワシが群れている様子を眺めることができます。イワシを群れの形で展示したのは新江ノ島水族館（旧・江ノ島水族館）が初だそうです！

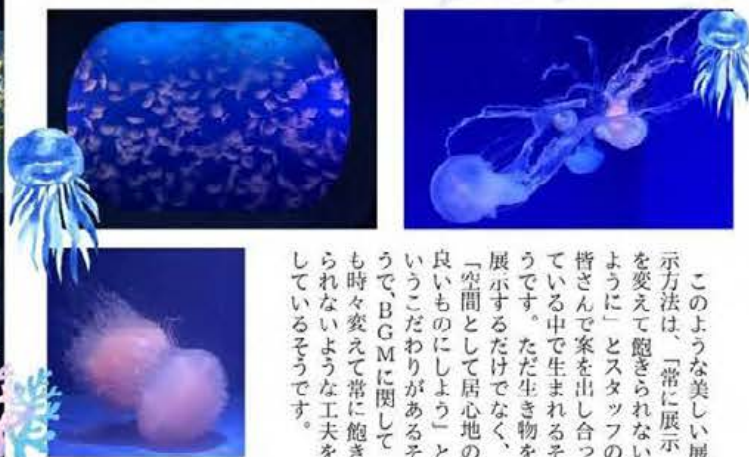


神奈川県 藤沢市片瀬海岸2丁目19番1号

新江ノ島水族館は、“相模湾と太平洋”、そこにくらす“生物”をテーマに、海やそれを取り巻く環境を楽しく遊びながら学べるエデュテインメント型水族館です。

2 クラゲファンタジーホール

シンプルな背景の水槽にはさまざまなクラゲがゆらゆらと泳いでおり、とても幻想的で、見ている人々を癒してくれます。



このような美しい展示方法は、「常に展示を変えて飽きられないように」とスタッフの皆さんで案を出し合っている中で生まれるそうです。ただ生き物を展示するだけでなく、「空間として居心地の良いものにしよう」というこだわりがあるそう、BGMに関してても時々変えて常に飽きられないような工夫をしているそうです。

新江ノ島水族館

に聞いてみました！

広報担当
山崎さん

1番好きな展示ブース
を教えてください！

潜った時と同じような感覚
で海の中を見ることができ
るので、相模湾大水槽が1番
好きです！裏側から見てい
ても、水槽を維持するのに
すごく苦勞しているから尊
敬の意も込めて。



江ノ島水族館ならではの魅力や
アピールポイントを教えてください！

目の前にある生物の種類が豊富な相模湾を紹介
している水族館で、見どころスポットは

**100種類2万匹の生物がいる相
模湾大水槽とクラゲ展示です。**

相模湾のことを知ってもらいたい水族館なの
で、ただの四角いプールではなく、義岩などで
岩場っぽく作り込んでいるところが特徴です。



相模湾大水槽のイワシの群れはどのような
方法で水槽に入れているのですか？

結構原始的な方法で、いけすのトラックでやっ
てきたイワシを手の空いているスタッフがバケ
ツで1階から大水槽がある3階まで運び込んで
います。水槽に入れる際、イワシは弱い生き物
で、すぐ水槽に入ると死んでしまうため、

水槽で使っている海水の水温や塩の
濃度を合わせてから入れています。



トリーター日誌を始めてから、
どのような影響がありましたか？

トリーター（飼育員）は普段、表立ってお客様と会
話をする場面が少なく、ショーなどでも台本通り
にしか話せないため、トリーター日誌はそれぞれの
トリーターが感じたことや研究していることを
世に出す手段として意味があったり、日誌を書く
ことで振り返りができ、トリーターのスキルア
ップになったりしているため、そういった面での影
響はありました。



海洋ゴミの取り組みをされている中で、
活動を始めてからどのような変化がありましたか？

いろいろな取り組みをしていますが、1番変化が分かりやすい
のが毎月第3日曜日（えのすいecoデー）にやっているビーチク
リーンですね。ただ、やっぱり細かいプラスチックのゴミがす
ごく多いです。日本だけでなく海外のゴミもあつたりして、それ
を全部拾い集めるというのは不可能なので、「今後どうなっ
てしまうんだろう」という気持ちはあります。世の中の意識として
だんだんプラスチックを減らそうという流れになってきている
ので、

環境が悪化する速度は少し緩やかになってい
るという効果はあるのかなと思います。

えのすいecoとは？

自然で成り立っている
水族館という事業を持
続するために環境を大
切にしようということで
2009年から始まった
取り組み。



新江ノ島水族館は人々にとってこれから
どのような存在であって欲しいですか？

水族館を通して、人間の生活と自然環境が
すごく密接している（自分達が自然をいた
だいて生活をしている）ということをも
とみんなに知ってもらいたいです。

水族館はレジャーで行くところかもしれないけれど、新江
ノ島水族館は環境についての展示やえのすいecoなどの取
組みをしているので、いろいろなことを少しでも学び取
って家に帰ってほしいです。それがゆくゆくは人間のため
だったり、地球環境のためだったりということに繋がって
いくのかなと思います。

トリーター日誌とは？

「えのすい」では飼育スタッフ
を“えのすいトリーター”と呼
び、そのえのすいトリーターの
方々が海や生物に関する情報を
日誌という形で毎日発信してい
る。



私たちができること

“海を綺麗にしよう！”＝“海にゴミを捨てない！”ということではありません。

海岸に、海にゴミが流れ着かないように、普段私たちが生活しているこの街でもゴミを捨てないように意識
することはもちろん、道路に出してあるゴミ捨て場のゴミ袋が破れていたらしかる場所へ連絡し対処しても
らうなど間接的にでも貢献していくことを心がけましょう。